

消防団たずね歩き

地域のふれあい「人と人との絆」を大切に

垂水北分団は垂水消防団9番目の分団として、4月1日に発足しました。団員個々は約4年間本団付として、各分団の行事、訓練に参加し、消防関係の勉強をさせていただきました。垂水北部、西区に隣接するニュータウン地区の開発にともない、地域防災をより強化するために平成22年6月から垂水消防団の新分団設立計画から約5年間、垂水消防署、垂水消防団の皆さまにお世話になりました。現在は器具庫、詰所がないので垂水消防署内、垂水消防団本部を借りて、分団会議をしたり、消防署において資器材の取り扱い訓練を実施したりしています。

垂水北分団の管轄地域は、東西約3km、南北約3km、JR垂水駅、JR舞子駅、JR朝霧駅からバスで約20分の時間を要する神陵台、西脇、本多間、舞多間東、舞多間西、多間町、小束本町、小束台、小束山手（西脇、本多間にあっては多間分団への通常応援）を担当します。この地域は、新興住宅

地といっても、新旧住宅地が存在する土地柄です。この地域を預かる垂水北分団は、分団長以下9人の分団員で地域の皆さまとの「ふれあいと人と人との絆を大切に」を肝に銘じ、災害活動はもちろんのこと、さまざまな地域活動に従事していきます。

私自身、初めて分団長として垂水北分団を預かる身になり、垂水消防署の皆さま、先輩諸氏のご指導^{まいしん}を仰ぎながら、消防活動に励み邁進していきます。

これからは、地域開催の行事、小中学校の各種行事の訪問と運営協力など、地元根付いた密着型消防団活動を心掛けたいと思います。あらゆる災害にも対処できるように、垂水消防団はもとより、垂水消防署の皆さま、地域住民の皆さまとともに、防災リーダーとして防災器具の取り扱い指導、AED救急処置の講習会、小型動力ポンプ操法訓練、地域内にある100トン防火水槽点検の実施等を目標として、安全安心な日常生活とともに、密着した防火防災活動を心掛けていきたいと思っています。このような地域に根付いた活動を通し、垂水北分団団員一同、より多くの地域住民の方々とのふれあいと絆を大切にしていきたいと思っています。

（垂水北消防団 分団長 北野安伸）



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

